

2023年3月24日
産業調査部

商工中金景況調査

2023年2月調査結果(定例分)



1. 目的・調査事項	<ul style="list-style-type: none">●目的 中小企業の、景況感をはじめとする実態のタイムリーな把握●調査事項<ul style="list-style-type: none">(1) 景況感 今月及び先行き(2) 業況判断（売上、販売価格、仕入価格、雇用状況、生産・営業用設備、資金繰り）今月及び先行き(3) トピックス (中小企業経営者が考える自社の諸課題と対応<仮>) ※トピックス部分は別途、4月中～下旬公表予定
2. 回答期間・調査頻度	<ul style="list-style-type: none">●回答期間 2023年2月17日～3月6日（本件が第12回調査）●調査頻度 四半期毎（当面）
3. 対象企業	商工中金の取引先中小・中堅企業
4. 企業数	有効回答数 2,322社 (アンケート依頼数 4,290社、回答率 54.1%)
5. 調査方法	インターネットによる直接回答
■ ご照会先	商工中金 産業調査部 高澤（たかさわ） TEL：080-7005-3663

調査回答企業の属性（業種別）

		回答企業数	構成比(%)			回答企業数	構成比(%)
製造業		1,077	46.4	非製造業		1,245	53.6
	食料品	131	5.6		建設業	63	2.7
	化学	84	3.6		卸売業	353	15.2
	鉄・非鉄	78	3.4		小売業	209	9.0
	印刷業	50	2.2		運輸業	344	14.8
	金属製品	181	7.8		飲食・宿泊	109	4.7
	はん用、生産用、業務用機械	156	6.7		情報通信業	35	1.5
	電気機器	71	3.1		その他非製造業	132	5.7
	輸送用機器	122	5.3				
	その他製造業	204	8.8				
全産業						2,322	100

(注)各項目の構成比の合計は、四捨五入の関係で100%とならない場合がある（以降頁同様）

調査回答企業の属性（地域別）

地域		回答企業数	構成比(%)	地域	回答企業数	構成比(%)
	北海道	63	2.7	北陸	103	4.4
	東北	174	7.5	近畿	374	16.1
	関東	697	30.0	中国	176	7.6
	甲信越	141	6.1	四国	83	3.6
	東海	262	11.3	九州・沖縄	249	10.7
全産業					2,322	100

(注)各項目の構成比の合計は、四捨五入の関係で100%とならない場合がある

地域区分：東北（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）、関東（茨城、栃木、群馬、東京、埼玉、千葉、神奈川）、甲信越（山梨、長野、新潟）、東海（静岡、愛知、三重、岐阜）、北陸（富山、石川、福井）、近畿（大阪、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山）、中国（鳥取、島根、岡山、広島、山口）、四国（香川、徳島、愛媛、高知）、九州・沖縄（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

1. 景況感

～部材不足、諸コスト上昇、
旅行需要一服などが重なり、景況感は悪化

<2023年2月の景況感>

部材不足、諸コスト上昇、旅行需要一服などが重なり、景況感は悪化

今月の景況判断指数（全産業）は45.7

（前回比-6.7ポイント）

先行きの景況判断指数は51.2

（今月比+5.5ポイント）

□ 2月・・・「好転」14.3%、「不変」62.7%
「悪化」22.9%

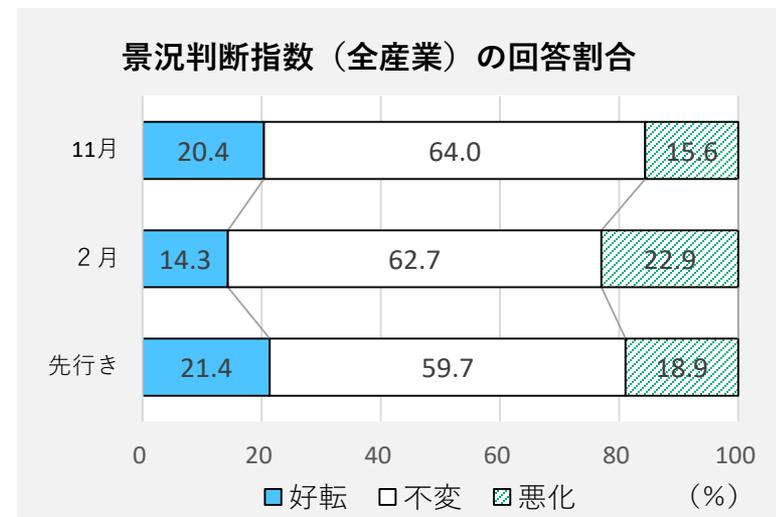
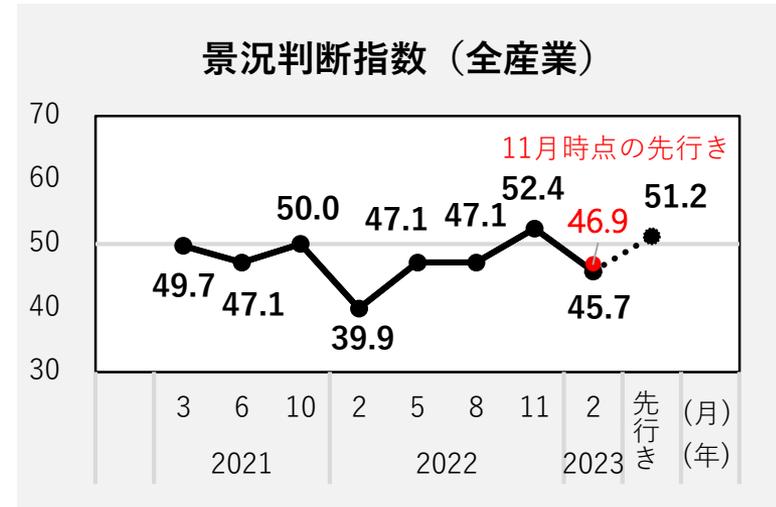
□ 先行き・・・「好転」21.4%、「不変」59.7%
「悪化」18.9%

注1) 景況判断指数の算出式

景況判断指数 = ((好転企業数 × 1 + 不変企業数 × 0.5 + 悪化企業数 × 0) ÷ 当該設問への回答企業数) × 100

指数が50を上回っていれば調査対象企業群の景況判断が概ね1~3か月前と比べて好転したことを表し、50を下回っていれば景況判断が概ね1~3か月前と比べて悪化したことを表す。50が中立となる。指数の範囲0.0 ≤ 景況判断指数 ≤ 100.0

注2) 景況判断は、「今月（概ね1~3か月前と比べて）」につき3つの選択肢 = 「1.好転」「2.不変」「3.悪化」から選択。「先行き（向こう3か月程度の見通し）」についても同様。



<2023年2月の景況感>

電気機器（スマホ向け等の半導体需給が悪化）と飲食・宿泊で、
前回比下振れ幅が大きい

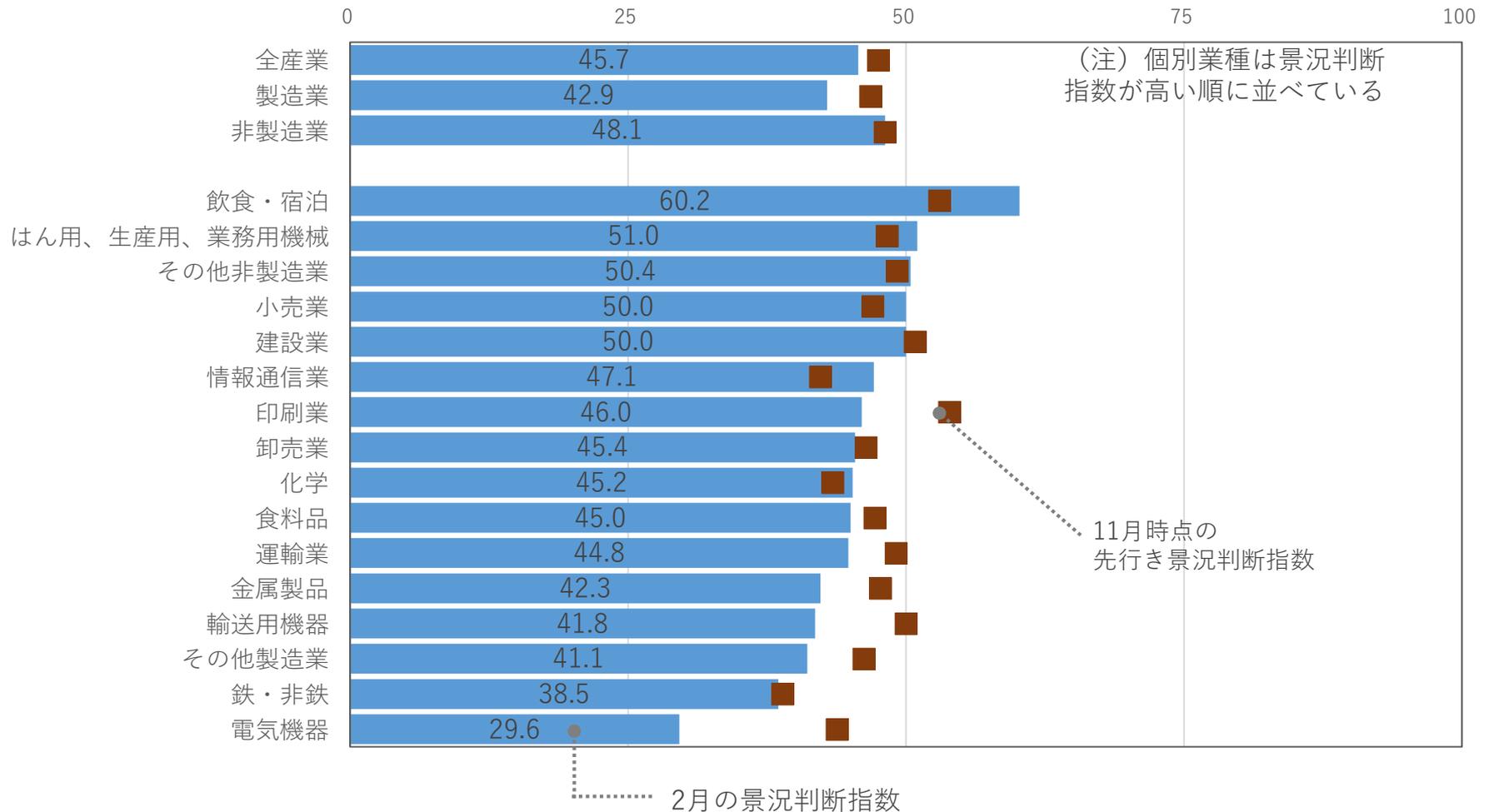
業種名	11月	2月 [11月時点の先行き]	(2月-11月)	先行き	回答数 (2月)
全産業	52.4	45.7 [47.5]	-6.7	51.2	(2,314)
製造業	50.9	42.9 [46.8]	-8.0	50.7	(1,074)
非製造業	53.7	48.1 [48.1]	-5.6	51.7	(1,240)
食料品	53.9	45.0 [47.2]	-8.9	55.5	(130)
化学	43.5	45.2 [43.4]	+1.7	51.8	(84)
鉄・非鉄	50.0	38.5 [38.9]	-11.5	43.6	(78)
印刷業	52.9	46.0 [53.9]	-6.9	52.0	(50)
金属製品	54.4	42.3 [47.7]	-12.1	50.0	(181)
はん用、生産用、業務用機械	50.0	51.0 [48.3]	+1.0	53.9	(155)
電気機器	47.2	29.6 [43.8]	-17.6	40.0	(71)
輸送用機器	52.2	41.8 [50.0]	-10.4	53.7	(122)
その他製造業	49.5	41.1 [46.2]	-8.4	49.8	(203)
建設業	51.5	50.0 [50.8]	-1.5	55.6	(63)
卸売業	50.7	45.4 [46.4]	-5.3	47.9	(351)
小売業	49.5	50.0 [47.0]	+0.5	51.0	(207)
運輸業	54.5	44.8 [49.1]	-9.7	50.4	(344)
飲食・宿泊	75.5	60.2 [53.0]	-15.3	67.0	(108)
情報通信業	46.3	47.1 [42.3]	+0.8	47.1	(35)
その他非製造業	53.5	50.4 [49.2]	-3.1	53.1	(132)

(注) その他製造業は紙・パルプ、繊維、窯業・土石、木材・木製品を含む。その他非製造業は不動産・物品賃貸業、サービス業を含む。

<2023年2月の景況感(11月時点の先行きとの比較)>

11月時点の先行きから下振れが目立つのは、電気機器、印刷業

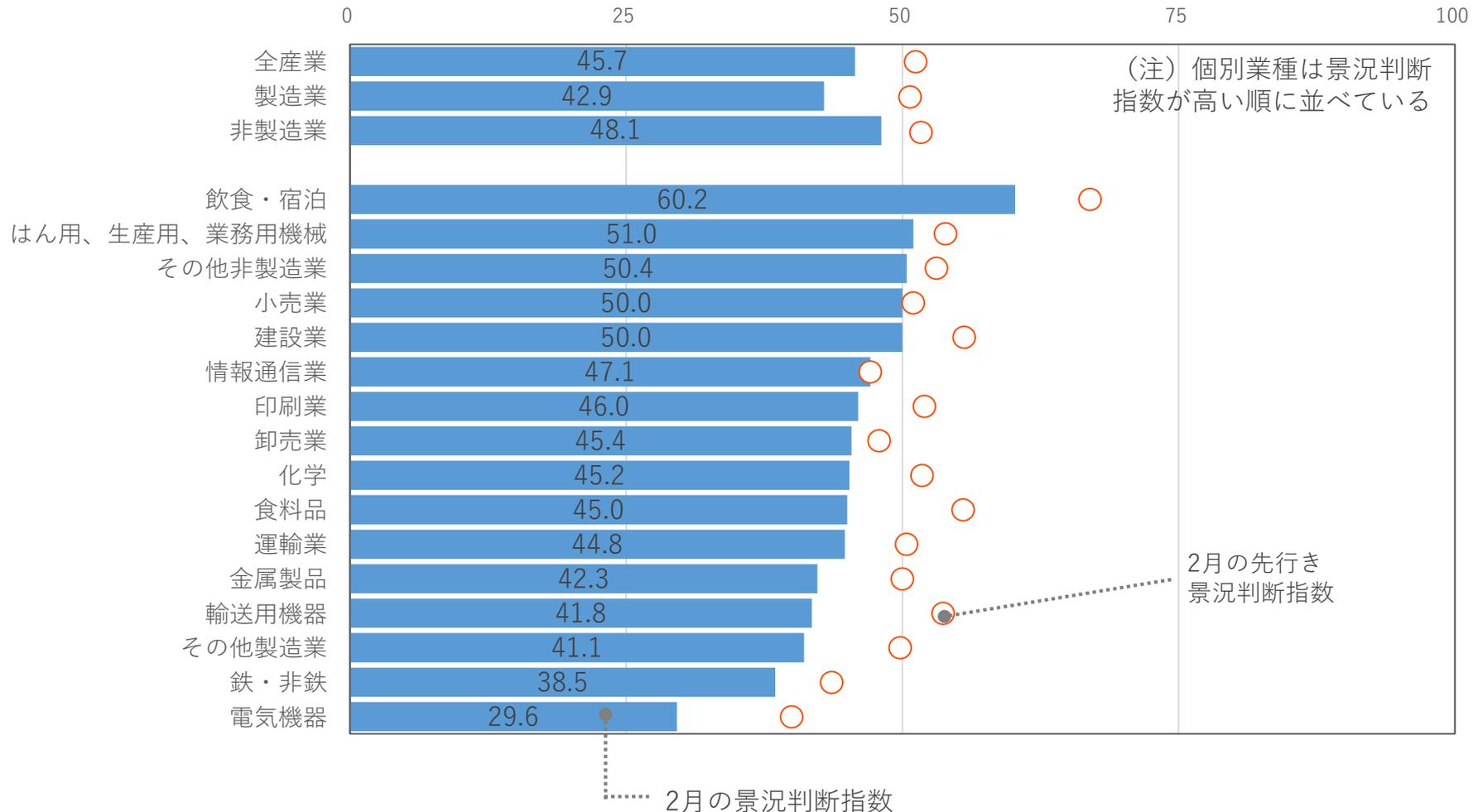
■11月時点の先行き景況判断指数との比較



<2023年2月の景況感（2月の先行きとの比較）>

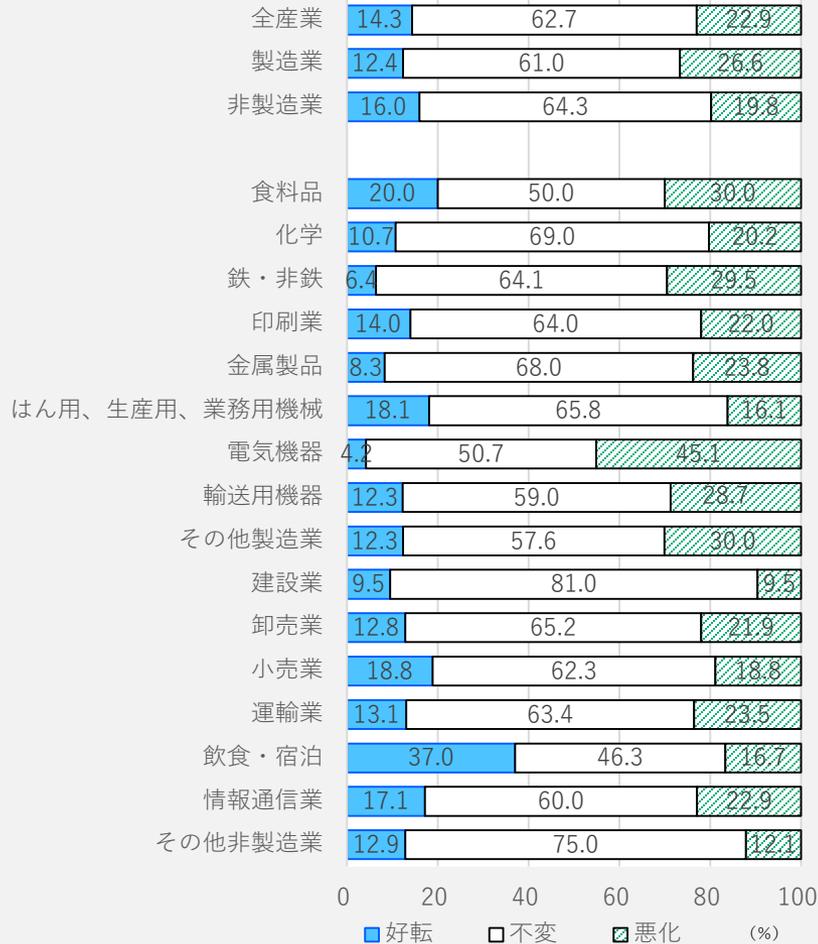
先行きはほぼ全業種で改善見込み。飲食・宿泊も再び「好転」超幅が拡大

■2月の先行き景況判断指数との比較

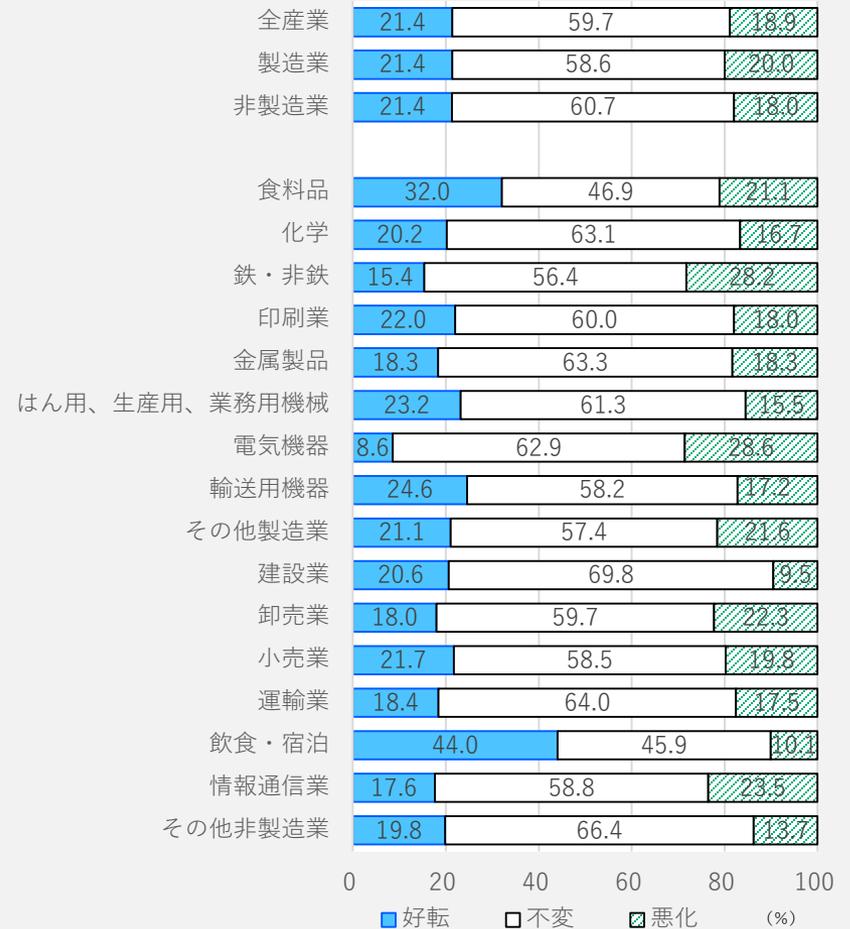


<2023年2月の景況感> 業種別の回答構成比

2月



先行き



<2023年2月の景況感> 地域別の景況感

地域名	11月	2月 [11月時点の先行き]	(2月-11月)	先行き	回答数(2月)	構成比 (%)	
						製造業	非製造業
全国	52.4	45.7 [47.5]	-6.7	51.2	(2,314)	46.4	53.6
北海道	49.2	53.2 [46.8]	+4.0	55.6	(62)	28.6	71.4
東北	51.2	42.5 [48.1]	-8.7	48.0	(174)	29.3	70.7
関東	52.0	46.6 [47.2]	-5.4	51.7	(695)	48.1	51.9
甲信越	47.6	36.9 [43.4]	-10.7	49.6	(141)	58.9	41.1
東海	51.6	43.1 [38.9]	-8.5	51.5	(261)	58.4	41.6
北陸	54.4	45.6 [53.9]	-8.8	49.5	(103)	51.5	48.5
近畿	54.9	46.1 [47.7]	-8.8	50.8	(372)	50.3	49.7
中国	53.5	46.6 [48.3]	-6.9	49.1	(174)	45.5	54.5
四国	48.1	45.8 [43.8]	-2.3	54.3	(83)	34.9	65.1
九州・沖縄	55.1	49.8 [50.0]	-5.3	53.6	(249)	34.9	65.1

(注) 全国ベースで調査対象企業の抽出を行っているため、地域ごとの業種構成は考慮していない。
そのため、各地域間の比較や、全国と各地域を比較する際は注意を要する。

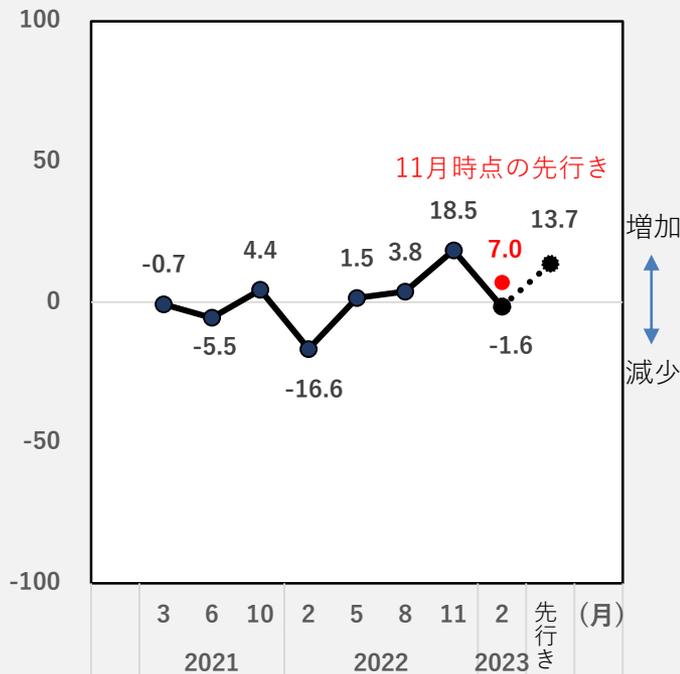
2. 業況判断

～【売上】電気機器を中心に製造業で減収が目立ち、
1年ぶりに「減少」超

<2023年2月の業況判断>

【売上】電気機器を中心に製造業で減収が目立ち、1年ぶりに「減少」超

売上DI（全産業）



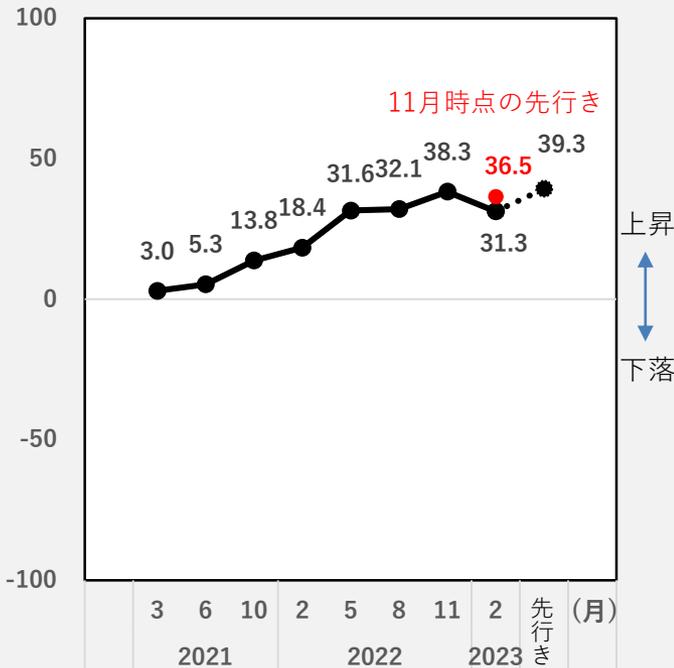
	22年11月	23年2月 [11月時点の先行き]	先行き
全産業	18.5	▲ 1.6 [7.0]	13.7
製造業	18.9	▲ 7.5 [4.9]	13.8
非製造業	18.3	3.6 [8.7]	13.6
食料品	42.1	9.2 [15.0]	31.5
化学	10.3	▲ 14.3 [▲2.6]	19.0
鉄・非鉄	27.8	▲ 17.9 [5.6]	5.1
印刷業	33.3	▲ 10.0 [26.0]	26.0
金属製品	21.6	▲ 5.0 [3.1]	13.3
はん用、生産用、業務用機械	6.4	7.7 [▲1.4]	11.6
電気機器	▲ 2.8	▲ 43.7 [▲5.6]	▲ 16.9
輸送用機器	10.8	▲ 16.4 [5.4]	14.8
その他製造業	19.0	▲ 6.9 [5.9]	12.8
建設業	13.6	3.2 [12.1]	25.4
卸売業	15.6	0.9 [4.7]	8.8
小売業	13.6	8.3 [12.7]	10.2
運輸業	20.7	▲ 3.5 [9.0]	12.6
飲食・宿泊	52.5	17.4 [16.5]	35.8
情報通信業	▲ 12.5	22.9 [▲15.4]	5.9
その他非製造業	12.5	6.1 [11.7]	12.1

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2023年2月の業況判断>

【販売価格】「上昇」超幅の拡大は足下一服。先行きは再び拡大見込み

販売価格DI（全産業）



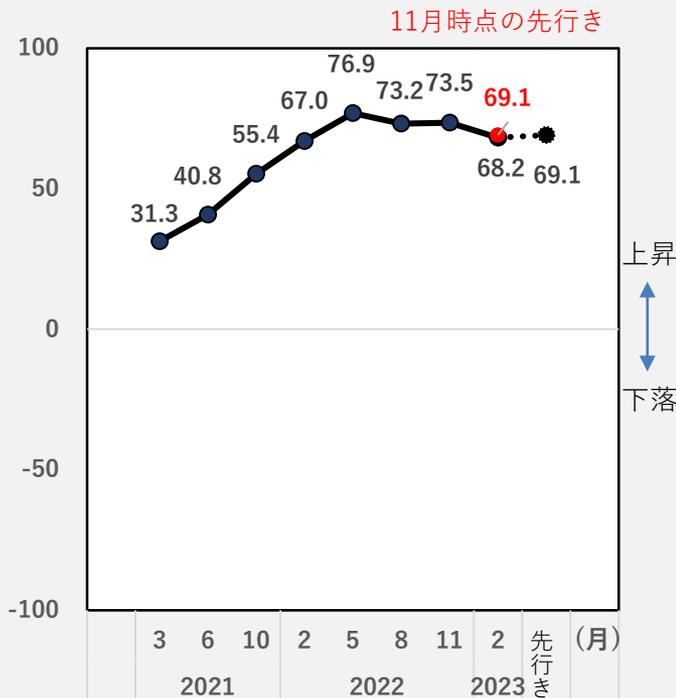
	22年11月	23年2月 [11月時点の先行き]	先行き
全産業	38.3	31.3 [36.5]	39.3
製造業	39.5	31.8 [39.7]	41.5
非製造業	37.3	30.9 [33.8]	37.5
食料品	57.5	51.2 [57.9]	59.4
化学	40.3	35.7 [39.5]	36.9
鉄・非鉄	50.0	30.8 [37.5]	38.5
印刷業	41.2	26.0 [45.1]	48.0
金属製品	41.5	32.2 [37.0]	42.8
はん用、生産用、業務用機械	27.5	25.8 [30.8]	35.5
電気機器	25.0	16.9 [25.0]	28.2
輸送用機器	35.1	20.5 [39.3]	26.2
その他製造業	37.6	36.0 [42.6]	48.8
建設業	25.8	19.0 [24.2]	19.0
卸売業	52.1	41.8 [47.1]	47.4
小売業	46.7	41.3 [47.4]	47.1
運輸業	19.4	13.7 [17.2]	19.8
飲食・宿泊	52.5	43.5 [29.6]	57.0
情報通信業	17.9	17.1 [18.4]	37.1
その他非製造業	25.8	28.2 [28.1]	33.6

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2023年2月の業況判断>

【仕入価格】 「上昇」 超幅は高水準ながら、緩やかに縮小

仕入価格DI (全産業)



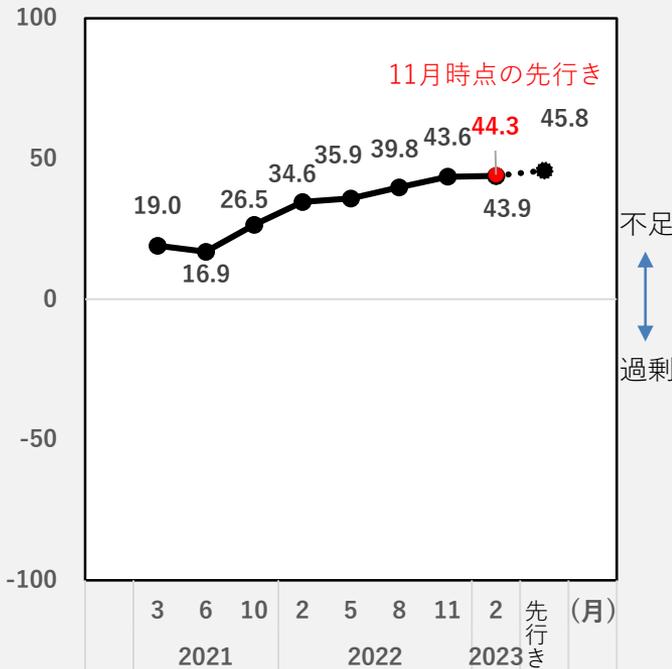
	22年11月	23年2月 [11月時点の先行き]	先行き
全産業	73.5	68.2 [69.1]	69.1
製造業	79.1	70.0 [73.2]	69.8
非製造業	68.8	66.6 [65.7]	68.5
食料品	85.8	85.5 [85.0]	84.7
化学	71.4	58.3 [72.4]	63.1
鉄・非鉄	68.1	51.3 [59.7]	59.7
印刷業	82.4	80.0 [86.3]	86.0
金属製品	81.9	71.1 [68.2]	65.0
はん用、生産用、業務用機械	84.5	75.5 [76.2]	74.7
電気機器	73.6	71.8 [77.8]	70.4
輸送用機器	83.8	68.0 [77.7]	64.8
その他製造業	73.4	64.7 [65.4]	66.2
建設業	80.3	85.7 [77.3]	81.0
卸売業	69.8	63.7 [61.6]	63.8
小売業	59.4	61.7 [58.5]	65.9
運輸業	66.1	61.8 [66.2]	65.1
飲食・宿泊	91.9	87.0 [89.7]	91.7
情報通信業	71.8	58.8 [68.4]	64.7
その他非製造業	63.3	70.8 [63.0]	70.2

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2023年2月の業況判断>

【雇用状況】 「不足」 超幅は引き続き拡大基調

雇用状況DI (全産業)



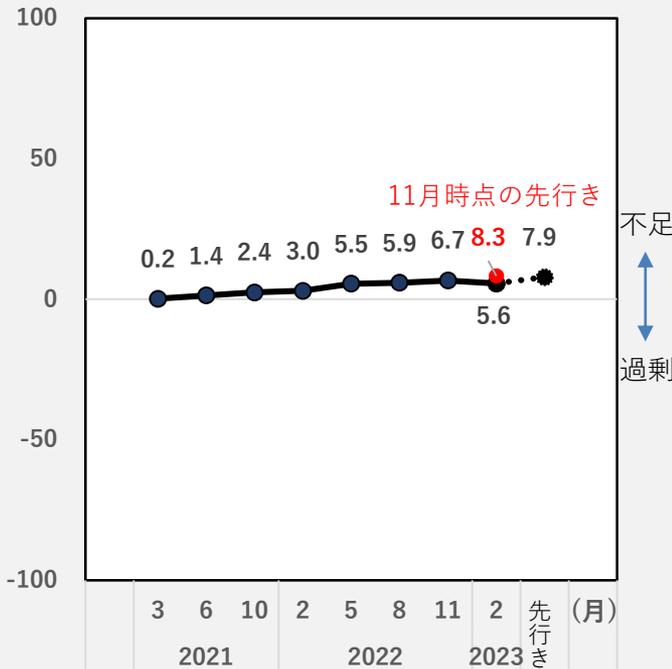
	22年11月	23年2月 [11月時点の先行き]	先行き
全産業	43.6	43.9 [44.3]	45.8
製造業	34.9	33.9 [35.6]	36.9
非製造業	51.0	52.6 [51.6]	53.5
食料品	53.2	53.4 [50.0]	56.5
化学	41.6	44.0 [44.0]	45.2
鉄・非鉄	37.5	37.2 [38.0]	33.3
印刷業	22.0	28.0 [22.0]	30.0
金属製品	41.2	39.8 [41.8]	40.6
はん用、生産用、業務用機械	26.8	24.7 [28.0]	26.6
電気機器	25.0	22.9 [23.9]	27.5
輸送用機器	25.2	23.0 [29.7]	36.1
その他製造業	31.4	29.4 [32.6]	32.4
建設業	53.0	54.0 [48.5]	57.1
卸売業	29.6	30.7 [31.2]	31.1
小売業	54.0	57.5 [55.7]	57.0
運輸業	61.3	64.9 [63.3]	66.1
飲食・宿泊	79.8	74.1 [76.8]	76.9
情報通信業	35.0	34.3 [34.2]	37.1
その他非製造業	60.8	57.6 [59.2]	58.3

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2023年2月の業況判断>

【生産・営業用設備】売上減に伴い「不足」超幅は幾分縮小

生産・営業用設備DI
(全産業)



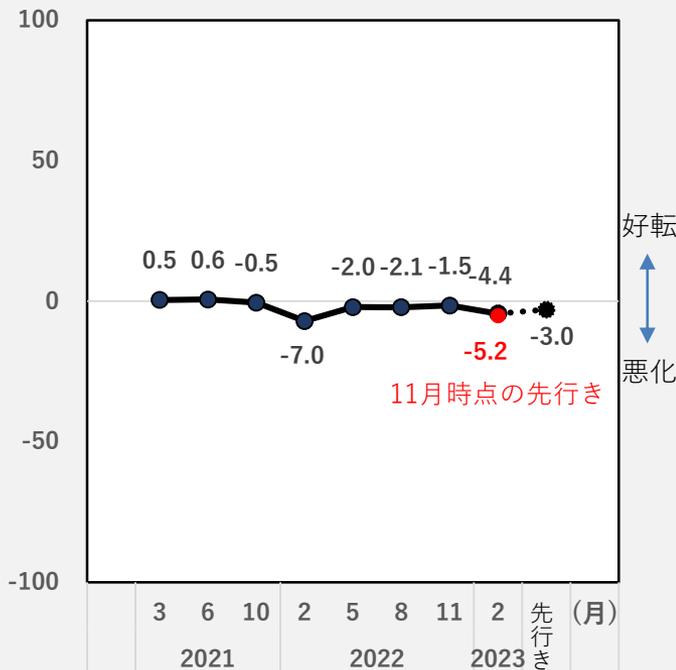
	22年11月	23年2月 [11月時点の先行き]	先行き
全産業	6.7	5.6 [8.3]	7.9
製造業	6.1	3.9 [8.4]	7.4
非製造業	7.2	7.1 [8.2]	8.3
食料品	13.5	13.0 [15.9]	16.2
化学	13.2	3.6 [18.7]	10.7
鉄・非鉄	8.3	9.0 [11.1]	11.5
印刷業	0.0	0.0 [3.9]	2.0
金属製品	7.7	3.9 [7.2]	6.7
はん用、生産用、業務用機械	7.0	3.9 [9.2]	7.7
電気機器	2.8	▲ 8.7 [9.9]	0.0
輸送用機器	▲ 4.5	▲ 4.1 [▲0.9]	0.8
その他製造業	4.2	6.4 [5.3]	7.0
建設業	▲ 4.5	0.0 [▲4.5]	▲ 1.6
卸売業	4.0	4.6 [5.6]	4.9
小売業	7.2	7.4 [7.6]	8.4
運輸業	13.7	11.7 [17.4]	14.7
飲食・宿泊	13.5	4.8 [6.3]	4.9
情報通信業	0.0	2.9 [▲2.6]	2.9
その他非製造業	3.2	7.6 [4.0]	9.9

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2023年2月の業況判断>

【資金繰り】材料費に加え電気代の上昇などから「悪化」超幅がやや拡大

資金繰りDI (全産業)



	22年11月	23年2月 [11月時点の先行き]	先行き
全産業	▲ 1.5	▲ 4.4 [▲5.2]	▲ 3.0
製造業	▲ 4.1	▲ 8.3 [▲6.6]	▲ 5.3
非製造業	0.7	▲ 1.0 [▲4.0]	▲ 1.0
食料品	▲ 4.0	▲ 8.4 [▲11.9]	▲ 13.7
化学	2.6	▲ 6.0 [0.0]	▲ 4.8
鉄・非鉄	▲ 2.8	▲ 6.4 [▲6.9]	▲ 6.4
印刷業	▲ 9.8	▲ 8.0 [▲11.8]	▲ 4.0
金属製品	▲ 1.6	▲ 7.8 [▲4.1]	▲ 3.9
はん用、生産用、業務用機械	▲ 0.7	▲ 3.2 [▲4.2]	▲ 3.9
電気機器	▲ 5.6	▲ 12.7 [▲9.7]	▲ 4.2
輸送用機器	▲ 14.4	▲ 9.8 [▲9.8]	▲ 1.6
その他製造業	▲ 4.2	▲ 11.8 [▲5.3]	▲ 4.9
建設業	3.0	0.0 [▲4.5]	0.0
卸売業	▲ 1.4	0.6 [▲3.1]	0.0
小売業	▲ 1.9	▲ 1.5 [▲2.3]	2.4
運輸業	3.0	▲ 1.5 [▲3.9]	▲ 3.5
飲食・宿泊	8.1	▲ 3.7 [▲7.1]	▲ 1.9
情報通信業	▲ 5.0	▲ 2.9 [▲7.7]	0.0
その他非製造業	0.0	▲ 0.8 [▲6.3]	▲ 2.3

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2023年2月の景況感・業況判断>

景況感・業況判断に関連する自由記載から①

【価格転嫁の動向】

諸コスト上昇による販売価格の転嫁は昨年末まで門前払いの状況だったが、経済産業省からの**価格転嫁**に後ろ向きな企業の発表等の影響から納入先の**価格交渉への姿勢は軟化**しており、近々販売価格の上昇が見込める(はん用、生産用、業務用機械)

【コロナ鎮静化による消費者の動向】

東海地区の大手スーパーマーケットは値上げの影響で増収の企業が多いようだが、売上規模が小さいスーパーは減収傾向。コロナ収束に向けた影響で、**今まで近場で購入していた消費者が百貨店を含めた大型店舗へ向かう**ように行動が変わってきている(小売業)

【半導体不足の現状】

自動車、半導体製造、医療用など各業界で生産計画が**後倒し**になっている。コネクタや半導体などの部材供給不足が原因となって製品が組み立てられない状況が続いている(金属製品)

【価格交渉のしやすいもの・しにくいもの】

電気料金や鋼材といった取引相場が分かるものの値上げ交渉は可能だが、**取引相場がない細かな資材や備品については値上げ根拠が不透明**とのことで**交渉が難しい**(鉄・非鉄)

【全国旅行支援の終了以降の宿泊業の動向】

全国旅行支援による割引が3月末で終了となるため、先行きが不安。ただし、**新型コロナの第5類への移行が検討**されており、**旅行消費へのマインドは高まる**と思われる。一方、**食材や光熱費が高騰**しており、販売価格への転嫁の可否も不透明であることから**資金繰りは厳しくなる**と予測する(飲食・宿泊)

【半導体需給の変化】

現状価格転嫁が進んでいないことから、3か月先の状況も厳しいと判断している。また**半導体製造設備の受注状況も生産調整が始まっている**ことから**厳しく、直近ピーク時の半分**になっている。回復するのは年末という情報もあり、先が見えてこない(電気機器)

※文意を損なわない範囲で一部記載を変更している(見出しは商工中金にて適宜作成)。

<2023年2月の景況感・業況判断>

景況感・業況判断に関連する自由記載から②

【運輸業の動向】

運送業向けの改善基準告示改定が2024年にあり、労働時間短縮による給与減少により人材の確保がしにくくなっている。対策すべく給与改定するにも原資の運賃値上げについて、荷主より理解が得られない。また、トラック自体が半導体不足やメーカーの認証不正の影響により発注ができず苦慮している(運輸業)

【2026年手形廃止に伴う動向】

経済産業省が2026年をめどに「約束手形を廃止」する方針を発表してから、手形の廃止に際し「でんさい」への変更ではなく、期日の振込払いへの変更の要請がある(卸売業)

【為替による需給動向】

ドル円相場が一時期よりは穏やかなものの、年始より円安に振れ始め、製造費用は昨年比で大きく上昇している。一方、中国元高・円安の状況であるので、中国および東南アジアからの引き合いは以前に比べ強い(その他製造業)

【長引く自動車減産、電気料金上昇】

得意先からの生産予定の内示から受注確定時には、ここ数ヶ月10%~20%程度の減産となることが多く生産予定も立てにくい。財務状況が悪化して資金繰りも厳しくなっている。また、電力費等の値上がり分を売り単価に転嫁出来ない状況が続いている(輸送用機器)

【鳥インフルエンザの影響】

目下の問題は、鳥インフルエンザによる鶏卵の供給不足・供給不安、原材料費、間接経費の値上げ。食品業界は値上げをすれば客離れがおき、安いものへ流れてしまうので、コスト上昇分の価格転嫁がほとんどできない(食料品)

【印刷業の価格転嫁】

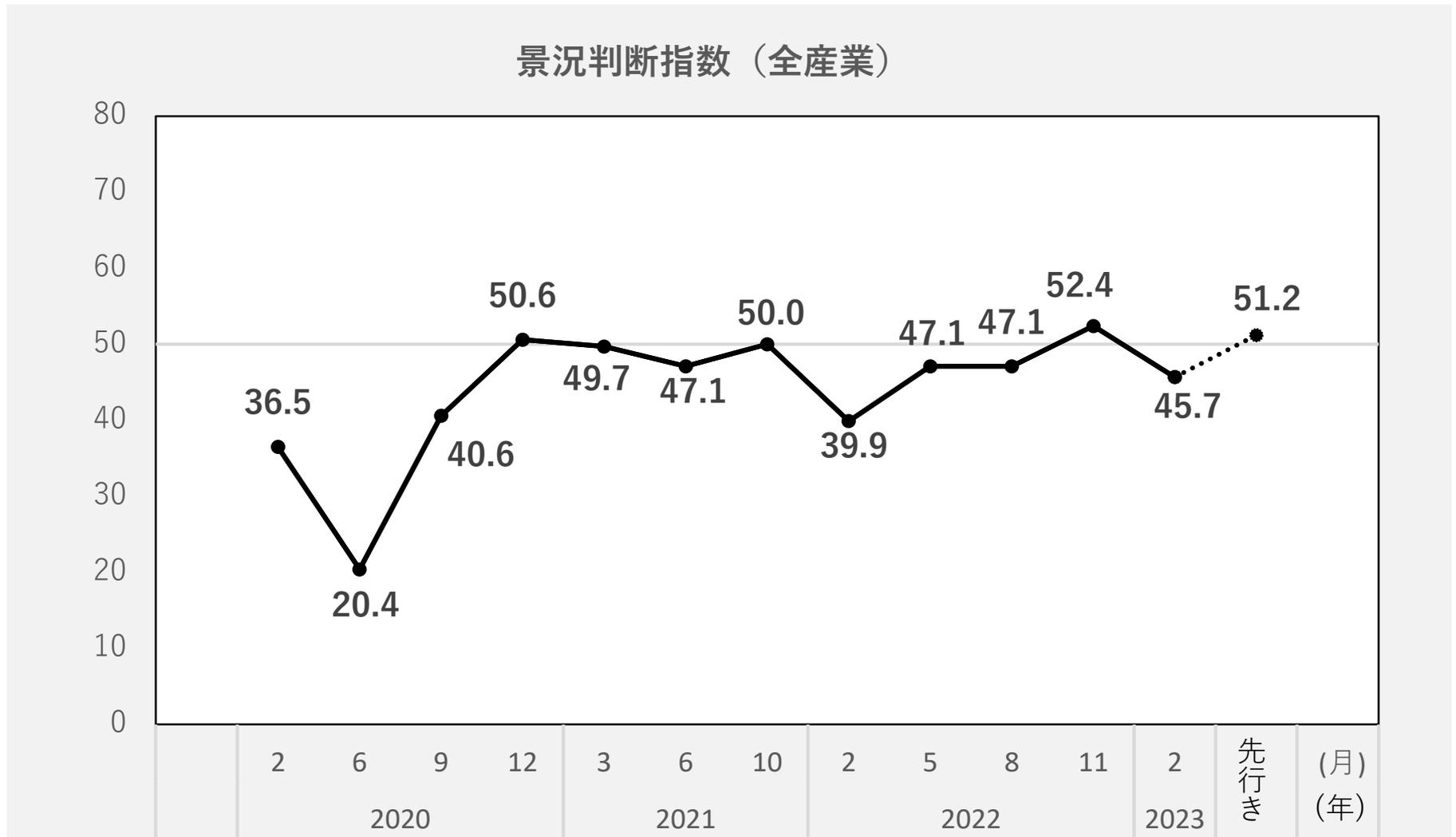
印刷資材や電力費のコスト上昇に加え、社員獲得の為の賃上げ対応も重なり、値上げは必須の状況。しかし大手ネット印刷業者の価格据置宣言もあり顧客との価格交渉は難航が見込まれ、タイミングを見計らっている(印刷業)

※文意を損なわない範囲で一部記載を変更している(見出しは商工中金にて適宜作成)。

(参考) 業況判断DIの定義

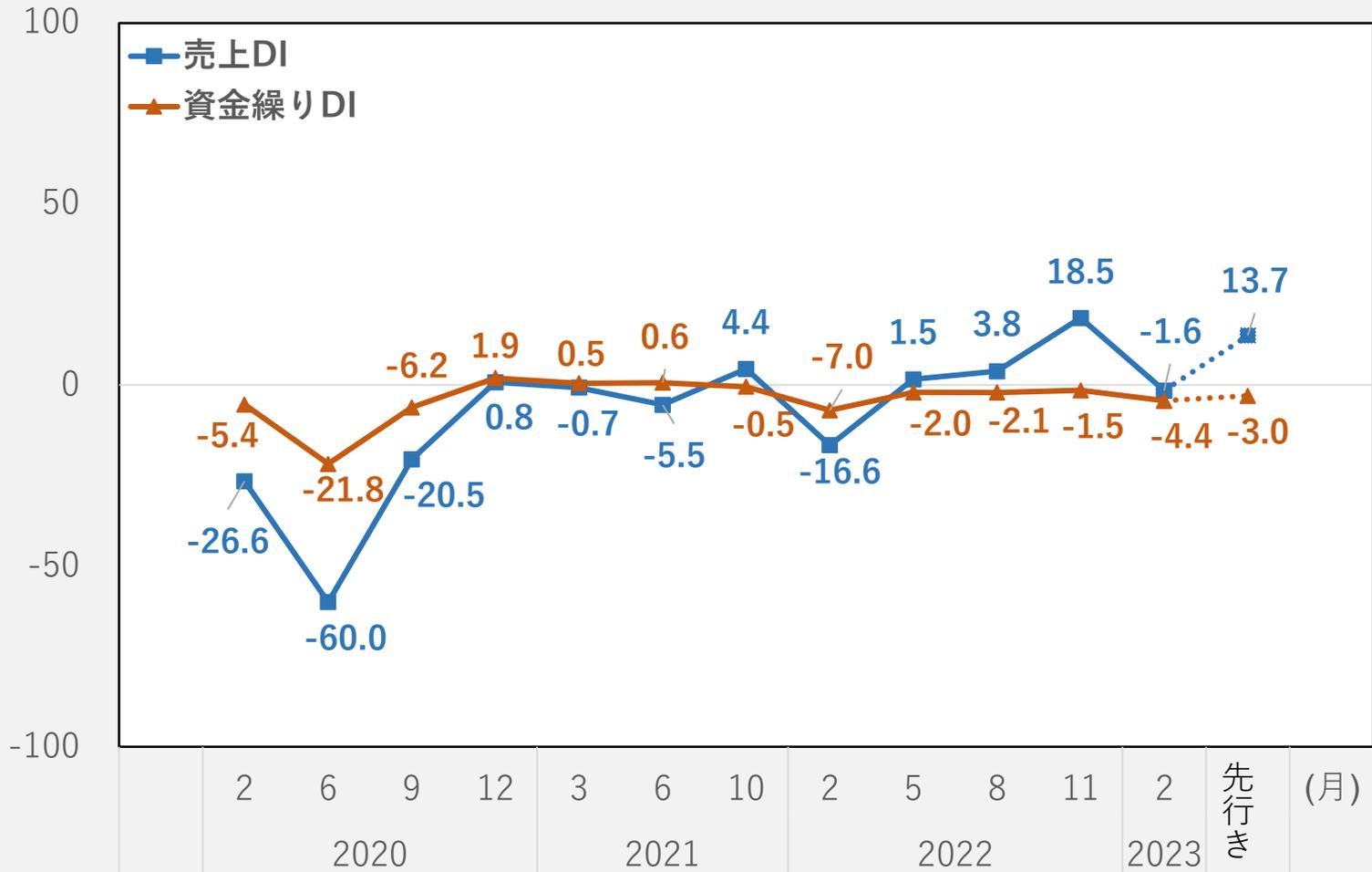
業況判断	<p>各項目の「今月」および「先行き」について、下記3つの選択肢（1.~3.）の中から、調査対象企業自身の業況についての判断（業況感）に該当するものを選択する</p>
DIの算出方法 (Diffusion Index の略)	<p>①売上…「1.増加」「2.不変」「3.減少」 ②販売価格…「1.上昇」「2.不変」「3.下落」 ③仕入価格…「1.上昇」「2.不変」「3.下落」 ④雇用状況…「1.不足」「2.適正」「3.過剰」 ⑤生産・営業用設備…「1.不足」「2.適正」「3.過剰」 ⑥資金繰り…「1.好転」「2.不変」「3.悪化」</p> <p>業況判断DI = 「1.」 - 「3.」の企業割合（%） DIの範囲▲100.0 ≦ 業況判断DI ≦ 100.0</p> <p>②販売価格、③仕入価格、⑥資金繰りは「今月」はおおむね1~3か月前と比べて、「先行き」は今月と比べてた向こう3か月程度の見通しについて、それぞれ選択肢から選んで回答。</p> <p>④雇用状況、⑤生産・営業用設備は、調査対象企業が「適正」と考えている水準を基準として、「今月」と「先行き」の状況を、それぞれ選択肢から選んで回答。</p>

(参考) 第1回調査からの長期時系列推移 (景況判断指数)



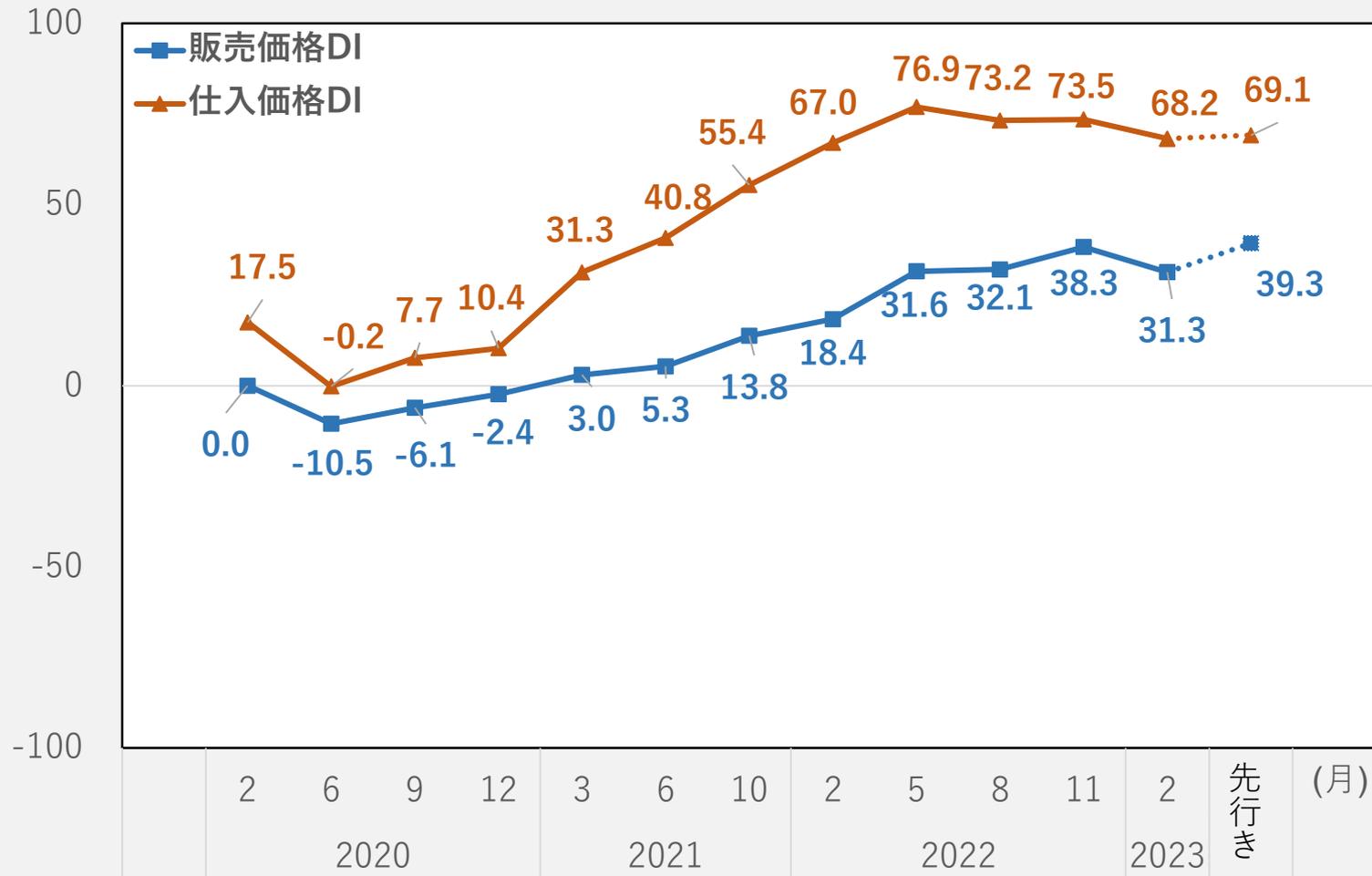
(参考) 第1回調査からの長期時系列推移 (売上、資金繰り)

売上DI、資金繰りDI (全産業)



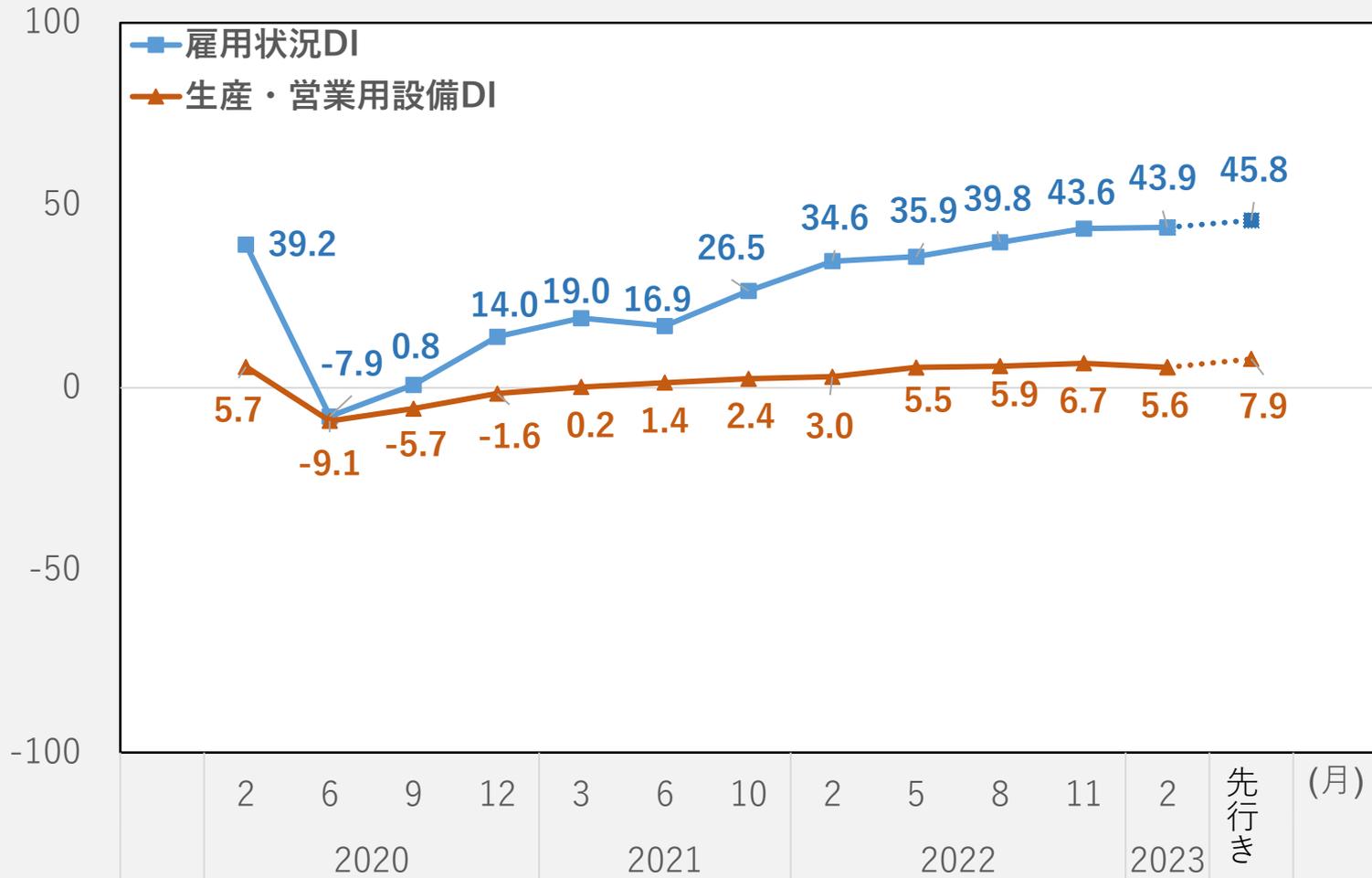
(参考) 第1回調査からの長期時系列推移 (販売価格、仕入価格)

販売価格DI、仕入価格DI (全産業)



(参考) 第1回調査からの長期時系列推移 (雇用状況、生産・営業用設備)

雇用状況DI、生産・営業用設備DI (全産業)





人を思う。未来を思う。

商工中金